

船舶インシデント調査報告書

令和6年4月24日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（燃料供給不能）
発生日時	令和5年5月5日 10時00分ごろ
発生場所	愛知県田原市伊良湖岬西方沖 伊良湖岬灯台から真方位277° 2.3海里付近 （概位 北緯34° 35.0′ 東経136° 58.2′）
インシデントの概要	プレジャーボート ^{ブラッドブラザー} Blood brotherは、漂流中、船外機が停止し、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和5年5月17日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート Blood brother、5トン未満（長さ6.79m） 240-26836愛知、有限会社碧南クレーン ガソリン機関、船外機、4サイクル、出力183.90kW、回転数 毎分5,800、6気筒、ボア95.0mm、使用燃料ガソリン、機関 製造年月日不詳、平成2年7月進水
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南南東、風力 3、視界 良好 海象：波高 約0.6m
インシデントの経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人1人を乗せ、伊良湖岬西方沖で船外機を中立運転として漂流しながら釣り中、船外機が停止した。</p> <p>本船は、船長が船外機の始動を試みたが始動せず、漂流を続けていたところ、付近で伊良湖水道航路を航行する大型船の警戒作業を行っていた船舶に船長らが救助され、同船舶が118番通報して来援した巡視艇にえい航されて田原市伊良湖港に到着した。</p> <p>本船は、本インシデント後、修理会社担当者により点検が行われた結果、燃料タンクと船外機との間のゴム製燃料ホース（以下「本件燃料ホース」という。）が経年劣化により亀裂が生じて空気が混入し、燃料油が船外機に供給されなくなっていたことが判明した。</p> <p>本船は、令和2年4月ごろに中古で購入された後、本件燃料ホースの点検や交換が行われていなかった。</p> <p>船長は、本インシデント後、本件燃料ホースがワイヤハーネス及びバッテリーケーブルと共に樹脂バンドで束ねられていたので本件燃料ホースの亀裂に気付かなかったと思った。</p>
分析	本船は、3年間本件燃料ホースの点検や交換が行われていない中、漂流中、経年劣化により本件燃料ホースに亀裂が生じ、空気が混入し

	て船外機に燃料油が供給できなくなったことから、船外機が停止し、運航不能となったものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、3年間本件燃料ホースの点検や交換が行われていない中、漂泊中、経年劣化により本件燃料ホースに亀裂が生じ、空気が混入して船外機に燃料油が供給できなくなったため、船外機が停止したことにより発生したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ 船長は、燃料ホースの点検を定期的に行うとともに、長期間使用されたものは早めに新替えること。